

スポールブール男子世界選手権報告書

男子日本代表チーム

今大会出場にあたり多くの方々にご声援・ご支援頂きました事をこの場を借りて御礼申し上げます。

1、大会概要

【大会】

38回スポールブール男子世界選手権(モナコ皇太子杯)

【日程】

2019年11月4日(月)～11月9日(土)

【開催場所】

トルコ共和国(メルスィン市)

【参加国】

各種目16カ国(合計22カ国、予選参加国46カ国)

(出場枠：ヨーロッパ大陸8カ国、アフリカ大陸3カ国、

アメリカ・南米大陸3カ国、アジア・オセアニア大陸2カ国)

【備考：アジア・オセアニア大陸予選大会】

アジア・オセアニア選手権(2019年5月オーストラリア・メルボルン開催)

※上位2カ国のみ世界選手権出場(6種目中3種目にて出場権を獲得)

<結果>

優勝 コンビネ (豊田想)

準優勝 プレシジョン (豊田想)・ダブルス (豊田想・兼坂俊之介)

【出場種目】

・豊田選手(コンビネ・プレシジョン・ダブルス)

・兼坂選手(ダブルス)

2、大会目標

- ・1種目以上でベスト8

3、男子日本代表チーム

【監督兼選手】 豊田 想 (9大会連続出場)

【役員・コーチ等】 阿部 孝太、小林 洋文、近藤 晋一郎

【選手】 兼坂 俊之介 (2大会連続出場)



4、結果

【総合順位】

第13位 (参加国22カ国、予選参加国46カ国)

【プレジジョン：豊田選手】

第6位 ※入賞

(予選 13点+18点 = 31点 全体の6位で予選突破)

(3位以上決定戦 ●10-14 対 チリ)

【ダブルス：豊田選手・兼坂選手】

第11位 ※予選敗退

(●2-13 対アルゼンチン、○9-5 対スイス、●1-13 対アルゼンチン)

【コンビネ：豊田選手】

第16位 ※予選敗退

(●20-21 対ペルー、●17-20 対モナコ)

5、大会会場

全10コート、特徴はとにかく跳ねるコートです。ダイレクトを狙わないと跳ねる可能性があり、特にビットティールはダイレクトヒットが必要となります。ポワンテは12.5m 部分の砂が少なく転がるが、5m 部分は砂が比較的多いため強弱を理解する必要がありました。



6、総括

今回の世界選手権から大陸別予選を勝ち進まなければ世界選手権に出場がすることができなくなった危機感もあり、2年間チーム一丸となり技術、戦術等、種目別の詳細に至るまでスポールボールと向き合った結果、長年の日本代表チームの目標であるベスト8を達成できた事が今大会の最大の収穫です。またダブルス種目においても2009年世界選手権のダブルス銀メダリストを擁するヨーロッパの中堅国(スイス)に勝利できた事は、日本が次のステップに進むべき一つの通過点を越えたことを意味しています。しかしながら、アジア・オセアニア選手権を勝ち抜き、ベスト8常連国になるには更なるステップUPが必要となります。男子日本代表は世界レベルの理解・挑戦・実現を技術、戦術、チーム準備の観点からこの4年間成長してきましたが、次の世界選手権に向けて種目別の更なる技術向上と実現の継続を目指し次回に向けての準備を継続していきます。今回大陸予選敗退により参加できなかったティール種目(プログレッシブ、ラップド)においてはオーストラリア・中国との実力差を少しでも埋められるように、新規人材発掘を含め対策をとっていきます。

7、種目別詳細報告

(1) プレシジョン

(備考 : AUS 5 位)



MONDIAL SENIORS 2019

38° Coupe PRINCE de MONACO

MERSIN (Turquie) - 4 au 9 Novembre



TIR DE PRÉCISION - TIRO DI PRECISIONE

QUALIFICATIONS

			Sc. 1	Sc. 2	Tot.	Cl.
1.	MNE	PETKOVIĆ Miroslav	7	13	20	14
2.	SLO	JANŽIĆ Davor	16	16	32	5
3.	CHI	GALVEZ Rodolfo	18	15	33	3
4.	MAR	OUINAKSI Yassine	13	8	21	13
5.	AUS	MIKOLIC Dino	15	15	30	7
6.	LBA	FAYAD Haytham	10	4	14	16
7.	TUN	KHIARI Hamza	11	12	23	10
8.	ITA	MANA Matteo	24	11	35	2
9.	URU	FAGIAN Pablo	8	16	24	9
10.	SRB	MILAKOVIĆ Miloš	11	17	28	8
11.	BIH	GLAVINIĆ Josip	13	9	22	11
12.	TUR	ÖZTÜRK Faik	17	24	41	1
13.	CRO	ČUBELA Pero	22	10	32	4
14.	JPN	TOYODA So	13	18	31	6
15.	MON	PEYRET Fabien	17	4	21	12
16.	ARG	MONTEMERLO Guillermo	4	11	15	15

1/4 DE FINALE

A	1.	TUR	ÖZTÜRK Faik	8		
	8.	SRB	MILAKOVIĆ Miloš	15		Q
B	2.	ITA	MANA Matteo	21		Q
	7.	AUS	MIKOLIC Dino	12		
C	3.	CHI	GALVEZ Rodolfo	14		Q
	6.	JPN	TOYODA So	10		
D	4.	CRO	ČUBELA Pero	10		
	5.	SLO	JANŽIĆ Davor	22		Q

1/2 FINALES

1	A.	SRB	MILAKOVIĆ Miloš	13		
	D.	SLO	JANŽIĆ Davor	25		Q
2	C.	CHI	GALVEZ Rodolfo	6		
	B.	ITA	MANA Matteo	19		Q

FINALE

1	1.	SLO	JANŽIĆ Davor	18		2
	2.	ITA	MANA Matteo	23		1

PODIUM

	ITA	MANA Matteo	
	SLO	JANŽIĆ Davor	
	SRB	MILAKOVIĆ Miloš	CHI GALVEZ Rodolfo

【目標】

- ・ 2回合計 30 点以上でベスト 8

【日本での準備】

- ・ ターゲット毎の立ち位置、ターゲットボールをヒットするためにどこを狙うべきかを分析し、実現のためのトレーニング
- ・ エンプティボールの実用
- ・ エラーパターン把握と瞬時の修正方法の習得

【今後の課題】

- ・ 投球イメージにおいてコーチの指示と自分の直感が異なる時は、迷わず自分の直感を信じる（プレシジョンの場合）
- ・ エラーパターンを減らし瞬時の修正方法の習得を徹底する

【考察】

日本での準備から試合中の 1 球 1 球の投球中まで阿部コーチのアドバイスを頂きながら挑めた結果、ベスト 8 を達成できた事を深く感謝致します。跳ねやすいコートという不運もあり、僅かな差でメダル獲得できませんでした。技術の向上がみられメダル獲得は挑戦数の問題だと感じるまでになりました。きちんと課題を解決し、次回はメダル獲得を目標と致します。



(2) ダブルス

(備考:AUS 8位)

DOUBLE - COPPIE

POULE I	1 ^{ère} Phase	SRB	MILAKOVIĆ Miloš / BUTORAC Srđan	12	7	BAVESTRELLO Aldo / TOSO Giacomo	CHI
		MON	LAUGIER Nicolas / GARCIA Anty	13	0	LINDVEST Merle / LINDVEST Arti	EST
	2 ^{ème} Phase	SRB	MILAKOVIĆ Miloš / BUTORAC Srđan	6	5	LAUGIER Nicolas / GARCIA Anty	MON
		CHI	BAVESTRELLO Aldo / TOSO Giacomo	13	2	LINDVEST Merle / LINDVEST Arti	EST
	Barrage	MON	LAUGIER Nicolas / GARCIA Anty	11	4	BAVESTRELLO Aldo / TOSO Giacomo	CHI
	Classement	1 ^{er} : MILAKOVIĆ Miloš / BUTORAC Srđan (SRB)			2 ^{ème} : LAUGIER Nicolas / GARCIA Anty (MON)		

POULE II	1 ^{ère} Phase	TUN	CHOUCHANE Mohamed ZOUAOUI Achref	4	9	MANA Matteo / BARBERO Enrico	ITA
		TUR	DURAN Yilmaz / ÖZTÜRK Faik	11	7	EL GUAMOISS Mohamed EL MAJDAOUI Ali	MAR
	2 ^{ème} Phase	ITA	MANA Matteo / BARBERO Enrico	9	3	DURAN Yilmaz / ÖZTÜRK Faik	TUR
		TUN	CHOUCHANE Mohamed ZOUAOUI Achref	7	9	EL GUAMOISS Mohamed EL MAJDAOUI Ali	MAR
	Barrage	TUR	DURAN Yilmaz / ÖZTÜRK Faik	5	13	EL GUAMOISS Mohamed EL MAJDAOUI Ali	MAR
	Classement	1 ^{er} : MANA Matteo / BARBERO Enrico (ITA)			2 ^{ème} : EL GUAMOISS M. / EL MAJDAOUI A. (MAR)		

POULE III	1 ^{ère} Phase	SUI	COLELLA Claudio / TOINET Thierry	2	7	ČUBELA Pero / ČUBELA Marin	CRO
		ARG	APEZ Pablo / PRETTO Nicolas	13	2	TOYODA So KANESAKA Shunnosuke	JPN
	2 ^{ème} Phase	CRO	ČUBELA Pero / ČUBELA Marin	6	1	APEZ Pablo / PRETTO Nicolas	ARG
		SUI	COLELLA Claudio / TOINET Thierry	4	9	TOYODA So KANESAKA Shunnosuke	JPN
	Barrage	ARG	APEZ Pablo / PRETTO Nicolas	13	1	TOYODA So KANESAKA Shunnosuke	JPN
	Classement	1 ^{er} : ČUBELA Pero / ČUBELA Marin (CRO)			2 ^{ème} : APEZ Pablo / PRETTO Nicolas (ARG)		

POULE IV	1 ^{ère} Phase	AUS	PARISI Angelo / PALERMO Tony	13	4	ALTIMIRANO Jesus / SAENZ Franz	PER
		LBA	FAYAD Ahmed / FAYAD Haytham	3	11	JANŽIĆ Davor / KOZJEK Jure	SLO
	2 ^{ème} Phase	AUS	PARISI Angelo / PALERMO Tony	5	11	JANŽIĆ Davor / KOZJEK Jure	SLO
		PER	ALTIMIRANO Jesus / SAENZ Franz	11	5	FAYAD Ahmed / FAYAD Haytham	LBA
	Barrage	AUS	PARISI Angelo / PALERMO Tony	13	2	ALTIMIRANO Jesus / SAENZ Franz	PER
	Classement	1 ^{er} : JANŽIĆ Davor / KOZJEK Jure (SLO)			2 ^{ème} : PARISI Angelo / PALERMO Tony (AUS)		



【目標】

- ・中堅国に競り勝つ、世界トップレベルから7点以上とる

【日本での準備】

- ・ティール率、ポワンテ率のアップ
- ・世界レベルの実現への挑戦

【今後の課題】

- ・ティーラーのヒット率（ビット含む）7割以上の安定
- ・ポワンテ、ティール共に遠距離対応
- ・ティーラーとポワンターが交換できる技術準備
- ・ポワンターのティール率向上、ティーラーのポワンテ率向上

【考察】

準優勝したアルゼンチンとは力の差は感じたが、メニュー毎では1球ミスの差で点がとれない事も多く、戦術的に勝負できた事は自信となりました。課題解決を実現し次回大会でベスト8を狙える位置までもっていきたいです。

	ポワンテ	ティール	ポワンテ	ティール
1 試合目	アルゼンチン		日本	
ポワンター	14/17	—	10/16	1/2
	82%		63%	50%
ティーラー	5/6	8/11	2/4	4/14
	83%	82%	50%	29%
2 試合目	スイス		日本	
ポワンター	7/22	1/1	14/22	—
	32%	100%	64%	
ティーラー	1/3	5/14	4/11	4/10
	33%	36%	36%	40%
3 試合目	アルゼンチン		日本	
ポワンター	16/24	1/3	18/30	0/1
	67%	33%	60%	0%
ティーラー	2/4	20/22	6/10	9/16
	50%	91%	60%	56%

<ポワンテ成功の定義>

- ① 点数となったポワンテ ②相手がティールを選択したポワンテ
- ② 相手と球数が同じ時に入った（入っている）ポワンテ

(3) コンビネ

(備考: AUS 5 位)



MONDIAL SENIORS 2019

38° Coupe PRINCE de MONACO

MERSIN (Turquie) - 4 au 9 Novembre



COMBINÉ - COMBINATO

POULE I	1 ^{ère} Phase	ARG	PRETTO Nicolas	23	20	FARES Mostafa	MAR
		HUN	FODOR Csaba	12	18	SAMSA Daniel	AUS
	2 ^{ème} Phase	ARG	PRETTO Nicolas	27	15	SAMSA Daniel	AUS
		MAR	FARES Mostafa	14	18	FODOR Csaba	HUN
	Barrage	AUS	SAMSA Daniel	19	14	FODOR Csaba	HUN
Classement	1 ^{er} : PRETTO Nicolas (ARG)			2 ^{ème} : SAMSA Daniel (AUS)			

POULE II	1 ^{ère} Phase	EST	LINDVEST Arti	22	15	FAYAD Haytham	LBA
		SLO	TONEJC Dejan	26	15	BRUZZONE Emanuele	ITA
	2 ^{ème} Phase	EST	LINDVEST Arti	17	32	TONEJC Dejan	SLO
		LBA	FAYAD Haytham	25	23	BRUZZONE Emanuele	ITA
	Barrage	EST	LINDVEST Arti	13	19	FAYAD Haytham	LBA
Classement	1 ^{er} : TONEJC Dejan (SLO)			2 ^{ème} : FAYAD Haytham (LBA)			

POULE III	1 ^{ère} Phase	CHI	BARBANO Franco	21	19	KARATAS Mehmet	TUR
		ARG	PRETTO Nicolas	21	20	KOLOBARIC Tomislav	CRO
	2 ^{ème} Phase	CHI	BARBANO Franco	17	18	BUTORAC Srdan	SRB
		TUR	KARATAS Mehmet	18	25	KOLOBARIC Tomislav	CRO
	Barrage	CHI	BARBANO Franco	19	23	KOLOBARIC Tomislav	CRO
Classement	1 ^{er} : BUTORAC Srdan (SRB)			2 ^{ème} : KOLOBARIC Tomislav (CRO)			

POULE IV	1 ^{ère} Phase	TUN	ZOUAOUI Achref	23	16	PEYRET Fabien	MON
		JPN	TOYODDA So	20	21	SAENZ Franz	PER
	2 ^{ème} Phase	TUN	ZOUAOUI Achref	24	15	SAENZ Franz	PER
		MON	PEYRET Fabien	20	17	TOYODDA So	JPN
	Barrage	PER	SAENZ Franz	24	23	PEYRET Fabien	MON
Classement	1 ^{er} : ZOUAOUI Achref (TUN)			2 ^{ème} : SAENZ Franz (PER)			

1/4 de FINALE	TUN	ZOUAOUI Achref			FAYAD Haytham	LBA
	ARG	PRETTO Nicolas			KOLOBARIC Tomislav	CRO
	SRB	BUTORAC Srdan			SAENZ Franz	PER
	SLO	TONEJC Dejan			SAMSA Daniel	AUS

【目標】

- ・平均20点以上でベスト8

【日本での準備】

- ・ビットティールをしないでも平均20点
- ・遠距離のティール・ポワンテ実践

【今後の課題】

- ・ビットティールの技術、使うタイミングの習得
- ・20点平均、25点を定期的にとれる技術
- ・ビット権をとった時、とってないときの戦い方、
- ・ティール先行、ポワンテ先行の戦い方の習得
- ・遠距離のティール、ポワンテ

【考察】

ペルー戦・モナコ戦ともに実力は同等で、どちらが勝ってもおかしくない試合でした。ペルー戦においては最終メーヌを2点リードで迎えていたが、コーチとの認識不足もあり3点差での最終メーヌと勘違いしてしまいビットを奥に配置してしまいました。相手が奥のティールが当たらないと想定していたが、きちんと自分が勝負できる位置に配置する事の重要性を認識しました。モナコ戦においてもビットを奥に置かれ4球連続ティールを外したのが最後まで響いてしまいました。中堅国との差はほとんどない事が確認できたため、今後は課題を解決し、ベスト8実現のために世界トップクラスに挑む事を目指します。



<スコア詳細> ※Tはティール,Pはポワンテ

- ・日本 18点 (T10点・P8点) ペルー 18点 (T7点・P11点)

※延長戦 (日本 2点<T1点,P1> ペルー 3点<T2点,P1点>)

- ・日本 17点 (T8点 P9点) モナコ 20点 (T9点・P11点)

8、各自考察

(1) 豊田監督兼選手

長年の日本スポールブール界の悲願でもあったベスト8を達成する事ができた事は、今までスポールブールに携わって頂いた全ての方々のお陰であり深く感謝致します。男子スポールブール界においてのベスト8達成は、今後のメダル獲得へのステップになると共に、参加した選手レベルや帰国後の周囲の反応を加味すると社会的意義のある事だとあらためて実感しています。今回出場した種目の課題は報告書内でも記載があるため割愛致しますが、まだまだ技術向上の余地があるためメダル獲得、さらには世界王者を目指し引き続き高いレベルでの鍛錬をしていきたいです。

チームとしても着々と成長しており、チーム、個々の課題レベルが向上している事を嬉しく思う一方で走る系種目（プログレッシブ、ラピッド）においては世界との差を詰めきれておらず、危機感を感じており自身を含め奮起を促していきたいです。とはいえレジャー愛好者も増えてきているので各自のやりがいに合わせた環境づくりも合わせて整えていきたいです。今回の結果を踏まえ男子日本代表は新たなステージに向けて動きだして行きます。今後とも変わらずご支援、ご声援を宜しくお願い致します。

(2) 阿部コーチ

【今大会への準備】

今大会は3種目出場（ダブルス、コンビネ、プレシジョン）という事で以前の大会に比べ種目数が少なく、走る系競技がなかった分より綿密に準備が進められたように感じた。中でもプレシジョンは最も力を入れられた。各ターゲットの当て方、立ち位置の確認はもちろんのことプレシジョンに対する固定概念を変えられたように感じた。

※プレシジョンの固定概念とは

日本ではプレシジョンは運の要素が強くベスト8の可能性が最もある種目という固定概念があるが、実は最も高い技術が集約されており試合全体の戦略は当然だがターゲット毎の戦略、技術の準備が必要であり、運の要素はそのレベルで戦えるステージで初めて使う言葉である。

【大会を通して感じたこと】

前回大会とほぼ同じ選手が出場していることから、上位陣は大きく崩れることはないが頭 1 つ抜けている選手がいるとは感じなかった。また今回のコートはボールが跳ねやすいコートであったり、5mゾーンに砂が多めに配置されていたりとヨーロッパ勢もなかなか体験したことがないコートであったがそれでも上位陣の顔ぶれはそこまで変わらなかったことから、どんなコート環境で練習しても適応力と修正力があれば戦えるという事を再認識した。

【実現できたこと】

前回と引き続き同じ代表選手を見て来たので、以前より効果的なアドバイスが出来たように感じた。特に手ごたえを感じられたのは、公式練習 1 時間の中でポワントを指摘できたことと、プレシジョンにてオーバーが多かった豊田選手に対しアドバイスでき、18 点を出すことが出来た。

またコンビネにおいて、今までは単に基礎技術不足での敗戦であったが今回は明確に作戦ミスという形があらわれた。これは日本の技術が上がってきた証拠だと思う。

【今後の課題】

プログレッシブ、ラピッドに関してはとてつもない差がついてしまっている。投球数もそうだがヒット率が段違いである。（表彰台狙いであればプログレッシブ 45 以上、ラピッド 55 以上の投球数。ヒット率は 75%が最低限）

またトラディショナルのティールは、16m以上先のヒット率向上とビュットティールを当てる技術が必要である。またモナコのダブルスを見て感じたのが、ヒット率自体は他の上位陣に比べ劣っていたが、決めるべきビュットティールは全て当てておりこのことから、

勝負所を逃さない事、調子の波を出来るだけ抑える事が必要であると感じた。特に後者は大量失点に直結するので重要である。当て続けることに越したことはないが、同一メニュー中 1 回の失敗までならベスト 8 が狙えるかもしれない。選手に関してはもう少し気づきと客観視できるだけの余裕が欲しいと感じた。練習であれば、他国に比べ練習環境が良くないことは明白なので 1 球 1 球を大切に 1 つの問題に対してもう一段階掘り下げられても良いのではないかと感じた。また、自身がどのように動いているかを把握できる能力がほしい。

【今後の目標】

世界大会に日本が全種目出場できることが第一であると思う。
走る系競技は特化した選手をずっと練習させて届くか届かないかのレベルなので厳しいかと思うが、トラディショナル系とプレシジョンは狙って行きたい。具体的に言えばビュットティールを含むヒット率を 70%以上の選手を輩出した。またコーチ方面で、もう 1 人以上担当できる人材が欲しい。現時点でフォームを指摘修正できる人が日本スポールブール界で非常に少ないので、今後の選手層を厚くすることもあり各支部に一人以上そのような人が出てくるようなことをしていきたい。

（３）兼坂選手

大会に向けた日本での練習では強豪との試合で予想される試合展開を元に特にミスを少なくするという所に重点を置きつつ、また自分達の弱点を認識し、勝負できる展開に持っていくにはどうすべきか。といった所について繰り返し確認を行った。また今大会の 1 ヶ月前に出場したジュニア世界選手権における反省も多くあったのでそれらも踏まえた準備を行った。大会では中堅国であるスイスに勝利し、強豪アルゼンチン相手にも何とか食らい付いて勝負できるメニューを作れたことは大きな収穫であり、結果は悪くとも手応えを感じられる試合内容であった。しかし強豪国とはティール率等を含め詰めなくてはならない大きな差があることを改めて実感させられた。今後は今回何度か実行できた勝負できるメニューを 1 試合通して継続できるようにしていくことを目標に練習していきたい。大会出場に際しまして多くのサポートを頂きましたこと、心より感謝申し上げます。

9、参考記録

(1) 最終順位

- ・日本はプレシジョンでベスト 8 に入り 2 ポイント獲得で 1 3 位
- ・オーストラリア 6 位、中国 1 2 位

	MONDIAL SENIORS 2019 38° Coupe PRINCE de MONACO MERSIN (TURQUIE) - 4 AU 9 NOVEMBRE	
---	---	---

TABLEAU DES MÉDAILLES

	Nations	OR	ARGENT	BRONZE	TOTAL
1	Croatie	2		1	3
2	Argentine	1	3		4
3	Slovénie	1	2		3
4	Italie	1	1	1	3
5	Monaco	1		1	2
6	Serbie			3	3
7	Tunisie			2	2
8	Australie			1	1
8	Chili			1	1
8	Maroc			1	1
8	Turquie			1	1

CLASSEMENT DES NATIONS

Cl ^t	NATION	Double	Simple	Combiné	Précision	Progressif	Relais	TOTAL
1	Croatie	4	10	4	4	10	6	38
2	Argentine	8	8	10		8	4	38
3	Slovénie	4	4	8	8	4	10	38
4	Italie	2	4		10	6	8	30
5	Serbie	6		6	6			18
6	Australie	2		4	4	6	2	18
7	Monaco	10	6					16
8	Tunisie		6	6				12
9	Turquie				2	4	6	12
10	Chili		2		6		2	10
11	Maroc	6	2					8
12	Chine					2	4	6
13	Japon				2			2
13	Libye			2				2
13	Monténégro					2		2
13	Pérou			2				2

(2) メダル獲得国



MONDIAL SENIORS 2019
38° Coupe PRINCE de MONACO
MERSIN (Turquie) - 4 au 9 Novembre



DOUBLE - COPPIE

1	MON	LAUGIER Nicolas GARCIA Anty	
2	ARG	APEZ Pablo PRETTO Nicolas	
3	SRB	MILAKOVIĆ Miloš BUTORAC Srđan	MAR EL GUAMOISS Mohamed EL MAJDAOUI Ali

SIMPLE - INDIVIDUALE

1	CRO	ĆUBELA Marin	
2	ARG	MONTEMERLO Guillermo	
3	TUN	CHOUCHANE Mohamed	MON LAUGIER Nicolas

COMBINÉ - COMBINATO

1	ARG	PRETTO Nicolas	
2	SLO	TONEJC Dejan	
3	TUN	ZOUAOUI Achref	SRB BUTORAC Srđan

TIR DE PRECISION - TIRO DI PRECISIONE

1	ITA	MANA Matteo	
2	SLO	JANŽIĆ Davor	
3	SRB	MILAKOVIĆ Miloš	CHI GALVEZ Rodolfo

TIR PROGRESSIF - TIRO PROGRESSIVO

1	CRO	ŽIVOLIĆ Darijan	
2	ARG	HECKER Lucas	
3	ITA	ROGGERO Mauro	AUS SAMSA Daniel

TIR RAPIDE EN DOUBLE - TIRO VELOCE A COPPIE

1	SLO	BORČNIK Aleš PETRIČ Anže	
2	ITA	ROGGERO Mauro FERRERO Enrico	
3	CRO	ŽIVOLIĆ Darijan KRALJIĆ Bruno	TUR CAN YAKIN Mehmet ALTAY Burak

(3) プログレッシブ

(備考 : AUS 3 位 CHN 7 位)



MONDIAL SENIORS 2019

38° Coupe PRINCE de MONACO

MERSIN (Turquie) - 4 au 9 Novembre



TIR PROGRESSIF - TIRO PROGRESSIVO

QUALIFICATIONS

			Sc. 1	Sc. 2	Tot.	Cl.
1.	BIH	MIKULIĆ Nikola	29/40	----	29	14
2.	ARG	HECKER Lucas	34/48	3248	66	8
3.	TUN	KHIARI Hamza	----	----	----	
4.	CHN	GIAN Tang	39/45	30/46	69	6
5.	CRO	ŽIVOLIĆ Darijan	41/51	47/51	88	2
6.	SLO	BORČNIK Aleš	47/50	43/49	90	1
7.	TUR	CAN YAKIN Mehmet	40/49	38/49	78	4
8.	CHI	BARBANO Franco	22/44	31/45	53	10
9.	MON	TRICHART Alexandre	27/47	32/47	59	9
10.	MNE	LUKOVIĆ Marko	31/45	35/45	66	7
11.	PER	MORON Alexis	17/39	----	17	15
12.	LBA	FAYAD Ahmed	26/44	23/44	49	12
13.	AUS	SAMSA Daniel	35/49	40/50	75	5
14.	SRB	BALAČ Miloš	26/43	24/43	50	11
15.	MAR	EL MOUSTAFID Abdeljalil	19/45	14/44	33	13
16.	ITA	ROGGERO Mauro	45/49	39/49	84	3

1/4 DE FINALE

A	1.	SLO	BORČNIK Aleš	38/50		
	8.	ARG	HECKER Lucas	42/49		Q
B	2.	CRO	ŽIVOLIĆ Darijan	40/51		Q
	7.	MNE	LUKOVIĆ Marko	24/45		
C	3.	ITA	ROGGERO Mauro	39/50		Q
	6.	CHN	GIAN Tang	31/45		
D	4.	TUR	CAN YAKIN Mehmet	34/48		
	5.	AUS	SAMSA Daniel	39/50		Q

1/2 FINALES

1	A.	ARG	HECKER Lucas	40/48		Q
	D.	AUS	SAMSA Daniel	30/48		
2	C.	ITA	ROGGERO Mauro	38/48		
	B.	CRO	ŽIVOLIĆ Darijan	46/51		Q

FINALE

	1.	ARG	HECKER Lucas	35/48		2
	2.	CRO	ŽIVOLIĆ Darijan	41/51		1

PODIUM

	CRO	ŽIVOLIĆ Darijan		
	ARG	HECKER Lucas		
	ITA	ROGGERO Mauro	AUS	SAMSA Daniel

(4) ラピッド

(備考 : AUS 7位 CHN 5位)



MONDIAL SENIORS 2019

38° Coupe PRINCE de MONACO

MERSIN (Turquie) - 4 au 9 Novembre



TIR RAPIDE EN DOUBLE - TIRO VELOCE A COPPIE

QUALIFICATIONS

			Sc. 1	Sc. 2	Tot.	Cl.
1.	PER	ALTIMIRANO Jesus / MORON Alexis	38/54	41/55	79	9
2.	ARG	HECKER Lucas / RUPERE Jonathan	46/56	41/55	87	6
3.	MAR	OUIAKSI Yassine / EL MOUSTAFID Ali	21/51	31/52	52	14
4.	MNE	LUKOVIĆ Marko / STJEPČEVIĆ Dejan	25/47	29/47	54	13
5.	TUR	CAN YAKIN Mehmet / ALTAY Burak	49/59	44/60	93	4
6.	BIH	MIKULIĆ Nikola / GLAVINIĆ Josip	36/51	34/51	70	10
7.	MON	GARCIA Anty / TRICHART Alexandre	40/54	19/51	59	12
8.	SLO	BORČNIK Aleš / PETRIČ Anže	53/60	52/60	105	2
9.	ITA	ROGGERO Mauro / FERRERO Enrico	54/60	54/60	108	1
10.	CRO	ŽIVOLIĆ Darijan / KRALJIĆ Bruno	49/60	50/60	99	3
11.	LBA	FAYAD Haytham / FAYAD Ahmed	26/52	15/49	41	15
12.	SRB	BALAĆ Miloš / RAŠKOVIĆ Milan	38/51	31/50	69	11
13.	AUS	PASCUZZI Santo / SAMSA Daniel	42/58	47/54	89	5
14.	CHI	TOSO Giacomo / BARBANO Franco	42/56	38/54	80	8
15.	CHN	LI-CHUN Feng / GIAN Tang	44/54	42/53	86	7

1/4 DE FINALE

A	1.	ITA	ROGGERO Mauro / FERRERO Enrico	47/58		Q
	8.	CHI	TOSO Giacomo / BARBANO Franco	34/56		
B	2.	SLO	BORČNIK Aleš / PETRIČ Anže	54/57		Q
	7.	CHN	LI-CHUN Feng / GIAN Tang	46/54		
C	3.	CRO	ŽIVOLIĆ Darijan / KRALJIĆ Bruno	50/59		Q
	6.	ARG	HECKER Lucas / RUPERE Jonathan	43/57		
D	4.	TUR	CAN YAKIN Mehmet / ALTAY Burak	48/60		Q
	5.	AUS	PASCUZZI Santo / SAMSA Daniel	40/58		

1/2 FINALES

1	A.	ITA	ROGGERO Mauro / FERRERO Enrico	52/60		Q
	D.	TUR	CAN YAKIN Mehmet / ALTAY Burak	48/60		
2	C.	CRO	ŽIVOLIĆ Darijan / KRALJIĆ Bruno	55/60		
	B.	SLO	BORČNIK Aleš / PETRIČ Anže	57/61		Q

FINALE

1	1.	ITA	ROGGERO Mauro / FERRERO Enrico	55/61		2
	2.	SLO	BORČNIK Aleš / PETRIČ Anže	60/61		1

PODIUM

	SLO	BORČNIK Aleš PETRIČ Anže		
	ITA	ROGGERO Mauro / FERRERO Enrico		
	CRO	ŽIVOLIĆ Darijan KRALJIĆ Bruno	TUR	CAN YAKIN Mehmet ALTAY Burak

(5) シングル

(備考 : AUS、CHN 予選敗退)

	MONDIAL SENIORS 2019 38° Coupe PRINCE de MONACO MERSIN (Turquie) - 4 au 9 Novembre	
---	---	---

SIMPLE - INDIVIDUALE

POULE I	1 ^{ère} Phase	BIH	MIKULIĆ Nikola	10	12	ĆUBELA Marin	CRO
		ITA	SARI Davide	10	9	LI-CHUN Feng	CHN
	2 ^{ème} Phase	CRO	ĆUBELA Marin	2	13	SARI Davide	ITA
		BIH	MIKULIĆ Nikola	13	7	LI-CHUN Feng	CHN
	Barrage	CRO	ĆUBELA Marin	11	5	MIKULIĆ Nikola	BIH
	Classement	1 ^{er} : SARI Davide (ITA)			2 ^{ème} : ĆUBELA Marin (CRO)		

POULE II	1 ^{ère} Phase	LBA	FAYAD Ahmed	2	13	KOZJEK Jure	SLO
		SRB	RASKOVIĆ Milan	10	7	CHOUCHANE Mohamed	TUN
	2 ^{ème} Phase	SLO	KOZJEK Jure	11	4	RASKOVIĆ Milan	SRB
		LBA	FAYAD Ahmed	10	12	CHOUCHANE Mohamed	TUN
	Barrage	SRB	RASKOVIĆ Milan	5	11	CHOUCHANE Mohamed	TUN
	Classement	1 ^{er} : KOZJEK Jure (SLO)			2 ^{ème} : CHOUCHANE Mohamed (TUN)		

POULE III	1 ^{ère} Phase	ARG	MONTEMERLO Guillermo	10	9	LAUGIER Nicolas	MON
		AUS	MIKOLIC Dino	10	7	POLOMNO Oswaldo	PER
	2 ^{ème} Phase	ARG	MONTEMERLO Guillermo	12	6	MIKOLIC Dino	AUS
		MON	LAUGIER Nicolas	13	6	POLOMNO Oswaldo	PER
	Barrage	AUS	MIKOLIC Dino	4	13	LAUGIER Nicolas	MON
	Classement	1 ^{er} : MONTEMERLO Guillermo (ARG)			2 ^{ème} : LAUGIER Nicolas (MON)		

POULE IV	1 ^{ère} Phase	MNE	PETKOVIĆ Miroslav	13	7	DURAN Yilmaz	TUR
		MAR	EL GUAMOISS Mohamed	6	13	GALVEZ Rodolfo	CHI
	2 ^{ème} Phase	MNE	PETKOVIĆ Miroslav	7	13	GALVEZ Rodolfo	CHI
		TUR	DURAN Yilmaz	7	8	EL GUAMOISS Mohamed	MAR
	Barrage	MNE	PETKOVIĆ Miroslav	2	13	EL GUAMOISS Mohamed	MAR
	Classement	1 ^{er} : GALVEZ Rodolfo (CHI)			2 ^{ème} : EL GUAMOISS Mohamed (MAR)		

(6) 参加国

QUALIFICATIONS POUR LE CHAMPIONNAT DU MONDE MASCULIN 2019

➤ EUROPE

		Double	Simple	Combiné	Tir de Précision	Tir Progressif	Tir Rapide en Double	Nombre épreuves
1	Bosnie Herzégovine		X		X	X	X	4
2	Croatie	X	X	X	X	X	X	6
3	Estonie	X		X				2
4	Hongrie			X				1
5	Italie	X	X	X	X	X	X	6
6	Monaco	X	X	X	X	X	X	6
7	Monténégro		X		X	X	X	4
8	Serbie	X	X	X	X	X	X	6
9	Slovénie	X	X	X	X	X	X	6
10	Suisse	X						1
11	Turquie	X	X	X	X	X	X	6

➤ PANAMERIQUE

		Double	Simple	Combiné	Tir de Précision	Tir Progressif	Tir Rapide en Double	Nombre épreuves
1	Argentine	X	X	X	X	X	X	6
2	Chili	X	X	X	X	X	X	6
3	Pérou	X	X	X		X	X	5
4	Uruguay				X			1

➤ ASIE-OCÉANIE

		Double	Simple	Combiné	Tir de Précision	Tir Progressif	Tir Rapide en Double	Nombre épreuves
1	Australie	X	X	X	X	X	X	6
2	Chine		X			X	X	3
3	Japon	X		X	X			3

➤ AFRIQUE

		Double	Simple	Combiné	Tir de Précision	Tir Progressif	Tir Rapide en Double	Nombre épreuves
1	Burkina Faso	X	X					2
2	Libye			X	X	X	X	4
3	Maroc	X	X	X	X	X	X	6
4	Tunisie	X	X	X	X	X	X	6

以上